

環境経営レポート

【2024年度】

活動期間：2023年11月1日～2024年10月31日



南陽木材株式会社

発行日 2025年4月28日

改定日 2025年4月28日

～目次～

1、 環境経営方針	1
2、 会社概要	2
3、 主要製品 写真	3
4、 実施体制図	4
5、 環境経営目標	5
7、 環境経営計画の取組内容（当期）	6
8、 環境経営の取組結果と評価・次年度の活動	7
10、 環境関連法規への順守状況並びに違反、訴訟等の有無	8
11、 代表者による全体評価と見直しの結果	8

環境経営方針

環境経営方針

当社は持続可能な社会の実現に向け、環境問題が重要な経営課題であると認識し、社員一人ひとりの意識を高めつつ、地域社会とのつながりを大切にして、環境経営を推進することにより、かけがえのない環境を守っていきます。

行動指針

南陽木材株式会社は、当社の事業運営にあたって、地球環境改善のために重要であると思われる行動指針を環境方針に基づき設定し、子孫へ明るい未来を残すために、地球への環境負荷低減にとどまらず、地球環境向上に向けて、取引先と一体となって活動します。

- 1、温室効果ガス、水使用量の削減に努めます。
- 2、廃棄物の削減、リサイクル化に努めます。
- 3、化学物質の使用量削減に努めます。
- 4、グリーン購入を積極的に導入します。
- 5、環境に良い製品を提供します。
- 6、当社に適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 7、本方針および指針を全社員に周知します。

制定:2011年 9月30日

改訂:2020年 4月29日

南陽木材株式会社

代表取締役 **中村 雅彦**

§【会社概要】§

会社名	南陽木材株式会社 N a n y o
所在地 ＜本社／工場＞	名古屋市熱田区千年1丁目26番7号 TEL (052) 661-0023 FAX (052) 652-3244
設立	1949年（昭和24年）8月
資本金	1,400万円
代表者	代表取締役社長 中村雅彦
従業員数	10名
売上高	205百万円
事業内容	木材製品加工販売（木製パレット／木箱） プラスチック段ボール加工販売 （プラダンケース・仕切等・企画・設計・製造） 輸送器具設計製造（物流ラック器具／容器）
主要取引先	株式会社アイシン 株式会社アイシン・ロジテクサービス オーキス・ジャパン株式会社 キムラユニティー株式会社 名港海運株式会社 株式会社ティラド

	機械名	台数
機械設備一覧	* クロスカット機 4m用 1台 * NCクロスカット機 4m用 1台 * タテ切り台 2m用 1台 * 傾斜横切り台 1台 * 12本同時釘打ち機 1台 * 8本同時釘打ち機 2台 * 専用自動釘打ち機 1台 * 専用釘付け機 3台 * スライドロボットパレット打ち機 1台 * NCルーター&ドリル&カ 2m*1m 1台 * NCサンプルカッタ 2.1m*1.6m 1台 * 熱曲げ機 2m用 1台 * 熱曲げ機 1.3m用 3台 * 熱封し機 1.3m用 1台 * 熱溶剤溶着機 2台 * リベッター (小) 2台 * リベッター (大) 1台 * ワイヤーステチャー 2台	

活動範囲：当社全サイトおよび全製品

主要製品(各種フリーサイズ折畳みBOX&仕切)

*ミッション輸送用リターナブル折畳みBOX



*輸出コンテナ用リターナブル折畳みBOX



*中軽量リターナブル折畳みBOX



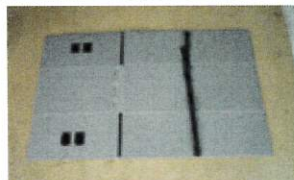
*精密機械輸送用リターナブルBOX(キャスター機器対応用)



*大型液晶テレビ輸送リターナブル折畳みBOX(エア緩衝材)



*A式用リターナブルケース



*アメリカンロック式フタ無しBOX



*鍵付きバックル用BOX



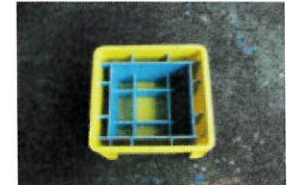
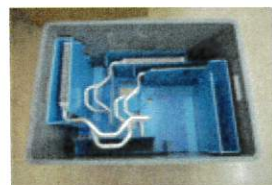
*ダンプラBOX



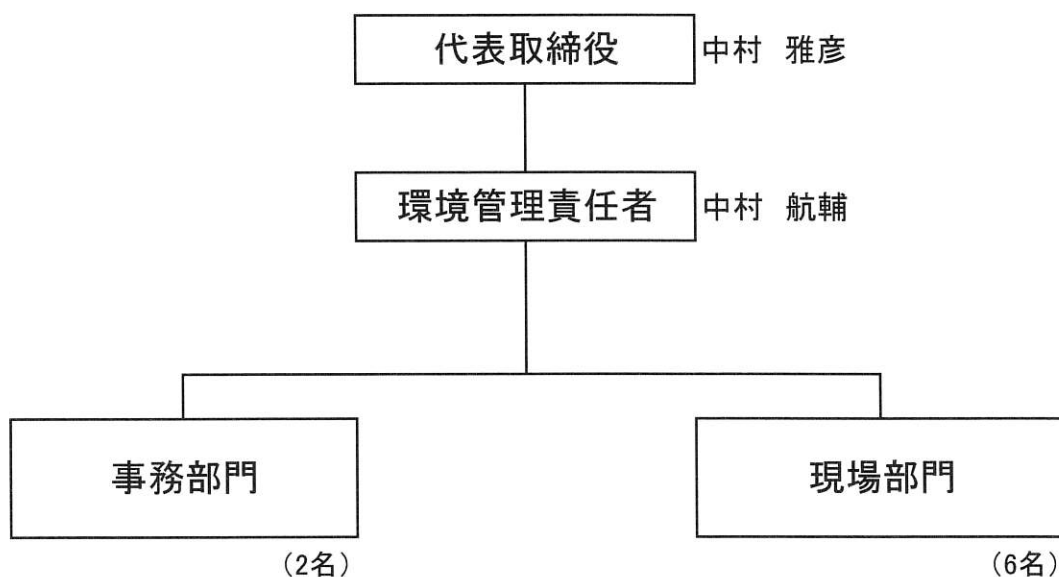
*金枠間仕切り付きパレット



*各種間仕切り



エコアクション21 実施体制図



所属	役割分担
代表取締役	・環境方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・マネジメントシステムの評価および見直し ・パフォーマンスの評価および見直し ・環境経営システム構築のための資源の提供
環境管理責任者	・マネジメントシステムの監視 ・パフォーマンスの監視 ・環境関連外部との窓口 ・文書の作成
部門責任者	・部門の計画の遂行管理 ・実施状況の確認・記録管理
部門担当者	・部門の計画の実施 ・自己の役割の認識

環境経営目標

	管理項目		基準年	21年 の目標	22年 の目標	23年 の目標	24年 の目標	25年 の目標
			2019年11月～2020年10月	2020年11月～2021年10月	2021年11月～2022年10月	2022年11月～2023年10月	2023年11月～2024年10月	2024年11月～2025年11月
温室効果ガス 排出量	CO2排出量	kg-CO2	— 27,350.7	1%削減 27,077.2	2%削減 26,803.7	3%削減 26,530.2	4%削減 26,256.7	5%削減 25,983.2
		原単位	— 235.3	1%削減 232.9	2%削減 230.5	3%削減 228.2	4%削減 225.8	5%削減 223.5
使用エネルギー の削減	電力使用量	kwh	— 32,927.0	1%削減 32,597.7	2%削減 32,268.5	3%削減 31,939.2	4%削減 31,609.9	5%削減 31,280.7
		原単位	— 283.2	1%削減 280.4	2%削減 277.6	3%削減 274.7	4%削減 271.9	5%削減 269.1
	ガソリン使用量	L	— 225.1	1%削減 222.8	2%削減 220.6	3%削減 218.3	4%削減 216.1	5%削減 213.8
		原単位	— 1.9	1%削減 1.9	2%削減 1.9	3%削減 1.9	4%削減 1.9	5%削減 1.8
	軽油使用量	L	— 4,060.4	1%削減 4,019.8	2%削減 3,979.2	3%削減 3,938.6	4%削減 3,898.0	5%削減 3,857.4
		原単位	— 34.9	1%削減 34.6	2%削減 34.2	3%削減 33.9	4%削減 33.5	5%削減 33.2
	産業廃棄物 廃棄物排出量	t	— 68.2	1%削減 67.5	2%削減 66.8	3%削減 66.2	4%削減 65.5	5%削減 64.8
		原単位	— 0.6	1%削減 0.6	2%削減 0.6	3%削減 0.6	4%削減 0.6	5%削減 0.6
グリーン購入	購入状況を把握し、環境に配慮した商品の購入を検討する。							
化学物質	使用なし							
製品サービス	オーダーケース の受注割合		15%	17%	19%	21%	23%	25%
年間売上(百万円)			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			116.3	150.4	154.3	148.9	148.8	160

※CO2排出係数は0.449 kg-co2/kwh(2021年・中部電力)を使用した。

24年に関してはCO2排出係数は0.421kg-co2/kwh(2024年・中部電力)を使用した。

※原単位は年間売上(百万円)を基準と使用した。

環境経営計画の取組内容(当期)

(1) 二酸化炭素排出量削減に向けての取り組み

1) 電力量削減

- ・ 不要な電気のこまめな消灯 (事務部門)
- ・ 昼休みの消灯 (事務部門)
- ・ こまめなPC電源OFF (事務部門)
- ・ 空調温度の適正化 (夏場: 28℃ 冬場: 20℃) (事務部門)
- ・ 空調のON・OFF管理 (事務部門)
- ・ 工場設備のON・OFF管理 (現場部門)
- ・ LED照明の導入
- ・ エアー漏れチェック (コンプレッサー)

2) 燃料削減

- ・ エコドライブ (現場部門)
- ・ 取引先への協力要請 (現場部門)
- ・ ルートの見直し (現場部門)
- ・ 積載率の向上
- ・ タイヤの空気圧調整

(2) 産業廃棄物排出量削減に向けての取り組み

- ・ 分別の徹底 (現場部門)
- ・ マニフェストの管理 (現場部門)
- ・ 定期的な排出量の把握 (現場部門)
- ・ リサイクル業者の選定

(3) 節水に向けての取り組み

- ・ 手洗い等における従業員への節水要請 (現場/事務部門)

(4) グリーン購入推進に向けての取り組み

- ・ 環境に配慮した商品の購入を随時検討する (事務部門)

(5) 化学物質削減に向けての取り組み

- ・ 新たな資材導入の際には必ずSDSを確認する。

(6) 環境に良い製品・サービスの提供に向けての取り組み

- ・ 環境を考え1ウェイケースからリターナブルケースへの製品提案をしていく。
- ・ リサイクル可能な材料にて製品提案をしていく。
- ・ リターナブルケースの普及拡大に努める。
- ・ 展示会出展用ケースの提案
- ・ グリーン商品として販売できないか検討してみる。

責任者: 中村航輔

スケジュール: 通年において実施

環境経営の取組結果と評価・次年度の活動

	管理項目		基準年	当期目標	当期実績	評価	次年度の活動
			2019年11～2020年10月	2022年11月～2023年10月	2023年11月～2024年10月		
温室効果ガス 排出量	CO2排出量	kg-CO2	— 27,350.7	4%削減 26,256.7	100% 27,223.1	基準年から比べ売上増加に伴い残業時間も増加しているが、削減効果が有り原単位としては達成出来た。	残業時間の減少以外に、空調のON・OFFをより徹底する。
		原単位	— 235.3	4%削減 225.8	56% 132.2		
使用エネルギー の削減	電力使用量	kwh	— 32,927.0	4%削減 31,609.9	130% 42,770.0	残業時間の増加も有りながらも削減効果が有り原単位としては達成出来た。	残業時間の減少以外に、設備のON・OFFをより徹底する。
		原単位	— 283.2	4%削減 271.9	73% 207.7		
	ガソリン使用量	L	— 225.1	4%削減 216.1	0% 0.0	使用頻度の少ない営業車を無くしたため達成できた。	
		原単位	— 1.9	4%削減 1.9	0% 0.0		
	軽油使用量	L	— 4,060.4	4%削減 3,898.0	79% 3,219.9	売上増加しているが、納入の効率化により達成できた。	空気圧の確認、積載効率を向上させる。
		原単位	— 34.9	4%削減 33.5	45% 15.6		
産業廃棄物	廃棄物排出量	t	— 68.2	4%削減 65.5	171% 116.5	前年より売上増加に伴い材料の端材が増加しているが原単位としては目標達成できた。	分別を徹底する。
		原単位	— 0.6	4%削減 0.6	96% 0.6		
水道水	水使用量	m3	— 234.0	4%削減 224.6	82% 192.6	取り組み効果により目標達成できた。	手洗における節水を徹底する。
グリーン購入	購入状況を把握し、環境に配慮した商品の購入を積極的に導入する。					購買品についてコピー紙・ファイルノート等購入している。	環境に対する考え方を昨年以上に考慮する。
化学物質	使用なし					今期において、新たな資材の導入はなかった。今後も継続していく。	使用しない方向性を継続する。
製品サービス	オーダーケースの受注割合		15%	17%	40%	新規取引先からのオーダーケース受注増加により目標達成できた。	クレーム案件をなくし、確実な製品作成に注力する。

年間売上(百万円)	2020年度	2024年度
	116	205.9

※CO2排出係数は0.449 kg-co2/kwh(2021年・中部電力)を使用した。
24年に関してはCO2排出係数は0.421kg-co2/kwh(2024年・中部電力)を使用した。
※原単位は年間売上(百万円)を基準とを使用した。

環境関連法規への順守状況並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法令等として、当社が適用する法令等を下記に取りまとめました。

「廃棄物処理法」、「愛知県廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」、「騒音規制法」、
「振動規制法」、「NOX・PM法」、「下水道法」、「名古屋市火災予防条例」、
「グリーン購入法」、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」、
「フロン排出抑制法」

これらの法令等について、順守評価を行なった結果、違反は有りませんでした。
また、関係機関、地域からの苦情や訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

前年と比べ売上が増加したことにより、電力使用量・廃棄物排出量は目標達成
とはならなかったが原単位としては達成できているため、継続していく。
その中でも、使用頻度の少ない営業車を無くすことにより
ガソリン使用量を「0」にすることが実現できた。

全体として環境経営システムを見直したが変更する必要はなく
再度取組を徹底し、励行する事で活動結果を出すものとする。
尚、環境経営方針は変更なし。

主力になっているダンブラケース以外の柱を作るべく
新たに「防音」に力を入れ、製品の検討・企画していく必要がある。
引き続きお客様の要求に応えたオリジナルケースや新商品の開発検討をより多くしていきたい。

2025年4月28日

代表取締役社長 中村 雅彦